

平成 14 年 10 月 9 日

## 学校休業日の分散化事例の調査結果について

学校休業日の分散化については、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」（平成 14 年 6 月 25 日閣議決定）の中の「経済活性化戦略」において、政府として分散化を推奨することとされています。

今般、内閣府では、全国全ての公立小・中学校を対象として、休業日日程の現状について調査を行いました。その結果、一部の地域を除いてはほぼ全国的に同じ日程である一方、個別の市町村・学校で独自の工夫事例が得られました。この調査結果についてお知らせします。

### 添付資料

資料 1 調査結果

資料 2 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」（平成 14 年 6 月 25 日閣議決定）（抜粋）

「観光振興に関する副大臣会議報告書」（平成 14 年 7 月 4 日）（抜粋）

## 調査結果

### < 調査の背景 >

学校における休業日の分散化については、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」(平成 14 年 6 月 25 日閣議決定)の中の「経済活性化戦略」、および「観光振興に関する副大臣会議報告書」(平成 14 年 7 月 4 日)において分散化を推奨することとされている。

今般、学校休業日の分散化を推奨するに当たり、全国の小・中学校の休業日について現状調査を行った。

### < 調査方法 >

対象校	全国の全ての公立小・中学校
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各都道府県内の一般的な休業日スケジュール</li> <li>2. 上記一般的なスケジュールでは休業日になっていないが、各市町村又は各学校の工夫により別の日に休業日を設定している事例(2日以上連続しているものに限る)</li> </ol>

### < 調査結果 >

#### 各県別の分散状況

1. 各都道府県の一般的なスケジュールは、東北地方以北、新潟県、長野県において夏季休業日をずらしているなどの事例もあるが、ほとんどが数日のずれに収まっている。(表 1)

#### 工夫事例

本調査で挙げた工夫例としては表 2 のとおり。

#### < 具体例 >

- ・運動会を 9/8 に開催することに伴い、練習時間確保のため夏季休業日を 2 日だけ前にシフト。(山口県 小郡町小郡中学校)
- ・夏は父母の多くが高原野菜の出荷で多忙であるため夏季休業日を短くし、2 月に土、日、祝日と合わせて 6 日間の連続休暇として家族と触れ合う時間を設定。(長野県 南佐久郡南牧村 南牧北小学校)
- ・10/27 の親子学習会の振替休業日を 11/1 にすることで土、日、祝日と合わせ 4 連休とした。(山梨県敷島町 敷島小学校)
- ・2 学期制の導入に伴い、土、日、祝日と合わせ 10 日間を学期間の休業日として設定。(宮城県 女川町全小・中学校)
- ・厳寒期休業日として、冬季休業日とは別に連続する 2 日間を適宜設定。(岡山県大佐町・新見市の一部の小・中学校)

### < 今後の予定 >

- ・現在、私立の小・中学校についても同様の調査を実施中。
- ・本調査結果で挙げた個別箇所については、効果などの調査が必要。
- ・本調査結果は、各地域の教育委員会等における分散化の検討の参考として活用されることを期待。
- ・今後も関係省が連携して学校休業日の分散化を推奨。

表1

## 各都道府県の一般的な学校休業日(平成14年度)

都道府県	夏季休業日 (夏休み)	冬季休業日 (冬休み)	学年末 始休業日 (春休み)
北海道	7/25～8/18	12/26～1/19	3/25～4/6
青森県	7/20～8/25	12/21～1/14	3/27～4/6
岩手県	7/26～8/20	12/26～1/20	3/21～4/5
宮城県	7/21～8/25	12/24～1/7	3/25～4/7
秋田県	7/23～8/25	12/26～1/13	3/22～4/3
山形県	7/24～8/21	12/21～1/7	3/20～4/6
福島県	7/21～8/24	12/24～1/7	3/24～4/5
茨城県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/5
栃木県	7/21～8/31	12/26～1/7	3/25～4/7
群馬県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/6
埼玉県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/7
千葉県	7/21～8/31	12/24～1/6	3/25～4/4
東京都	7/21～8/31	12/26～1/7	3/26～4/5
神奈川県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/26～4/4
新潟県	7/25～8/31	12/25～1/7	3/25～4/4
富山県	7/20～8/31	12/25～1/7	3/25～4(未定)
石川県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/4
福井県	7/21～8/31	12/24～1/7	3/25～4/5
山梨県	7/21～8/31	12/26～1/9	3/26～4/3
長野県	7/27～8/20	12/28～1/8	3/20～4/3
岐阜県	7/20～8/31	12/27～1/7	3/27～4/5
静岡県	7/20～8/31	12/21～1/5	3/21～4/5
愛知県	7/20～8/31	12/21～1/6	3/25～4/3
三重県	7/21～8/31	12/24～1/7	3/26～4/5
滋賀県	7/21～8/31	12/24～1/6	3/25～4/7
京都府	7/21～8/31	12/22～1/7	3/23～4/7
大阪府	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/7
兵庫県	7/20～8/31	12/25～1/7	3/25～4/6
奈良県	7/21～8/31	12/24～1/6	3/25～4/5
和歌山県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/7
鳥取県	7/20～8/31	12/26～1/8	3/25～4/6
島根県	7/21～8/31	12/26～1/7	3/25～4/7
岡山県	7/20～8/31	12/25～1/7	3/27～4/5
広島県	7/21～8/31	12/24～1/6	3/26～4/5
山口県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/7
徳島県	7/21～8/31	12/24～1/7	3/25～4/7
香川県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/5
愛媛県	7/21～8/31	12/26～1/7	3/26～4/7
高知県	7/21～8/31	12/26～1/7	3/25～4/6
福岡県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/21～4/5
佐賀県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/5
長崎県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/25～4/5
熊本県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/7
大分県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/7
宮崎県	7/21～8/31	12/25～1/7	3/27～4/4
鹿児島県	7/20～8/31	12/25～1/7	3/26～4/5
沖縄県	7/21～8/31	12/26～1/5	3/25～4/6

休業日の日程が全く同じものについて網掛けをしている。

(7/20は休日のため、7/21と同じとみなした。また、4/5、6は土日のため4/4、5、6は同じとみなした。)

休業日の日程を工夫し、これ以外の日程で設定した事例については、表2などがある。

表2

## &lt; 学校活動・地域行事等実施 &gt;

	学校名	休暇日程	理由
北海道	中標津町 中標津中学校	9/24～9/26 (夏季・冬季休業日合わせて3日間短縮)	生徒が地域行事への参加や総合的な学習の時間に関わる調査等として活用するため。
富山県	上平村 上平中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 12/20～1/7	スキー全国大会参加のため冬季休業日を長期化。
長野県	下高井郡野沢温泉村 野沢温泉中学校	寒中休業日1/21～1/26	県中学校スキー大会の開催に合わせて6日間の連続休暇を設定。

表2

## &lt; 休業日のシフト &gt;

	学校名	休暇日程	理由
大阪府	池田市 池田小学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 夏季休業日7/19～8/29	7/19～7/21臨海学舎(6年生)の実施に伴い夏季休業日を2日間前倒した。
大阪府	岬町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/21～1/6	祝日と土、日のつながりを考慮し、12月の冬季休業日を1日増やし、1月の冬季休業日を1日減らす。
山口県	小郡町 小郡中学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 夏季休業日7/19～8/29	運動会を9/8に開催することに伴い、練習日数を確保するために期間の変更を行った。

表2

## &lt; 家族のふれあいに配慮 &gt;

	学校名	休暇日程	理由
岩手県	一関市・花泉町・平泉町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは7/26～8/20) 夏季休業日7/21～8/25 (冬季休業日をその分短縮)	自然体験や社会体験さらには、家族とのふれあいの時間を確保し、「生きる力」を育むため、夏季休業日を10日間増やした。
長野県	南佐久郡南牧村 南牧北小学校	寒中休業日2/6～2/11	土日の前の2日間と、日曜日と祝日の間の月曜日を休みとし、6日間の連続休暇を設定。夏は父母の多くが高原野菜の出荷で多忙であるため、夏季休業日を短くし、寒中休業日を長くして家族と触れ合う時間をとっている。

表2

## &lt; 代休の活用 &gt;

	学校名	休暇日程	理由
富山県	井口村 井口中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/20～1/7 (夏季休業日を1日短縮)	夏季休業日の短縮分と体験学習1日分の代休を加え、冬季休業日を長期化。
山梨県	双葉町 双葉中学校	9/20～9/23	学園祭の代休を飛び石連休の間に入れ、土曜日、日曜日、祝日と合わせ4日間の連続休暇とした。
山梨県	敷島町 敷島小学校	11/1～11/4	10/27の親子学習会の振替休業日を11/1にすることで土曜日、日曜日、祝日と合わせ4連休とした。
島根県	旭町 木田小学校	2/8～2/11	地域参観日の振替休業日を土曜日、日曜日、祝日と合わせ4日間の連続休暇とした。
島根県	安来市 仁多町 八束町全小 中学校、大田市 美都町 佐田町 加茂町 横田町 玉湯町 瀬出善町 伯太町 川本町 宍道町 掛合町 三隅町全中学校、大田市 北三瓶小学校 志学小学校 池田小学校、及び平田市 平田中学校 同光中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/24～1/7 (夏季休業日をその分短縮)	2学期始めの学校行事、地域行事準備のために夏季休業日を短縮しており、その代替のため。
島根県	美保関町 美保関中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/25～1/7 (夏季休業日をその分短縮)	2学期始めの行事準備のために夏季休業日を短縮しており、その代替のため。
島根県	平田市 久多美小学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/24～1/7 (夏季休業日をその分短縮)	8/29～8/30に校内で栽培しているりんごの収穫作業で登校したため、その代休。
大分県	耶馬溪町 永若小学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 夏季休業日7/21～8/29 (一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/25～1/9	9/15に校区ふれあい運動会があったため、夏季休業日を2日間短縮して練習時間等の準備期間を確保し、一方で冬季休業日を長期化。
大分県	萩町 緑ヶ丘中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/21～1/7	12/14に実施するクロスカントリー大会の代休を12/24に移すことで土曜日、日曜日、祝日と合わせ冬季休業日を長期化した。

表2

## &lt; 2学期制に伴う学期間休業 &gt;

	学校名	休暇日程	理由
北海道	東川町 東川小学校	10/9～10/11 (夏季・冬季休業日合わせて3日間短縮)	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日、体育の日と合わせて6日間を学期間の休暇とした。
北海道	士幌町 士幌町中央中学校	10/1～10/4 (文化祭の代休2日間と冬季休業日を2日間短縮)	2学期制導入に伴い、文化祭の代休2日間と土曜日、日曜日と合わせて6日間を学期間の休暇とした。
北海道	豊頃町 豊頃中学校	9/30～10/1 (夏季・冬季休業日合わせて2日間短縮)	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日と合わせて4日間を学期間の休暇とした。
北海道	陸別町 陸別中学校	9/25～9/26 (冬季休業日を2日間短縮)	2学期制導入に伴い、2日間を学期間の休暇とした。
青森県	弘前市 千年小学校・小沢小学校・時敏小学校 黒石市 黒石小学校・黒石東小学校	9/28～10/2 (千年小) 10/5～10/8 (小沢小) 10/3～10/7 (時敏小) 10/5～10/8 (黒石小、黒石東小)	2学期制を導入している学校で各校の行事等を考慮のうえ学期間の休業日を設定。
宮城県	仙台市 全小・中学校	10/15～10/16	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日、体育の日と合わせて5日間を学期間の休暇とした。
宮城県	女川町 全小・中学校	10/7～10/11	2学期制の導入に伴い、土曜日、日曜日等を合わせて10日間を学期間の休暇とした。
宮城県	石越町 全小・中学校	9/30～10/2	2学期制の導入に伴い、土曜日、日曜日等を合わせて5日間を学期間の休暇とした。
宮城県	牡鹿町 鮎川小学校	10/1～10/4	2学期制の導入に伴い、土曜日、日曜日等を合わせて6日間を学期間の休暇とした。
宮城県	築館町 全小・中学校	10/11	2学期制の導入に伴い、土曜日、日曜日等を合わせて4日間を学期間の休暇とした。
秋田県	秋田市 御所野学院中学校	夏季休業日7/20～8/20 秋季休業日9/28～9/30 冬季休業日12/21～1/13 春季休業日3/21～4/5	中高一貫校で、しかも2学期制であるため、高等学校に準じた休業を設定。
山形県	山辺町 全小・中学校	10/1～10/3 (夏季休業日、冬季休業日、春季休業日から1日ずつ短縮)	2学期制導入に伴い、3日間を休業日として設定した。(小学校の一例であり、町として統一された期間はなし)
山形県	山形県 県内小・中学校	9月下旬から10月上旬に2～6日間を設定。	小学校15校、中学校8校で2学期制を実施している。(そのうち小学校1校は学期間休業日を設定せず)
東京都	東村山市 化成小学校	11/1 (冬季休業日を1日短縮)	2学期制の導入に伴い、土曜日、文化の日、休日と合わせて4日間を学期間の休業日とした。
石川県	金沢市 明成小学校・高岡中学校	10/10～10/14 (夏季休業日を2日間短縮)	平成14年度から2学期制のモデル校となったため、そのための取組み。
石川県	金沢市 富樫小学校	10/9～10/14 (夏季休業日を2日間短縮)	平成14年度から2学期制のモデル校となったため、そのための取組み。
石川県	金沢市 鳴和中学校	10/5～10/8 (夏季休業日を2日間短縮)	平成14年度から2学期制のモデル校となったため、そのための取組み。

表2

	学校名	休暇日程	理由
静岡県	本川根町 本川根中学校	秋期休業日9/28～9/30	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日と月曜日を合わせ3日間を秋季休業日とした。
和歌山県	かつらぎ町 大谷小学校	秋季休業日10/12～10/17 (夏季休業日を4日間短縮)	2学期制導入のため。
広島県	双三郡三和町 三和中学校	10/10～10/14 (夏季休業日をその分短縮)	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日、体育の日と合わせて5日間を学期間の休暇とした。
広島県	三原市 第三中学校	10/19～10/22 (夏季休業日をその分短縮)	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日と合わせて4日間を学期間の休暇とした。
広島県	豊田郡安芸津町 安芸津中学校	10/24～10/27 (夏季休業日をその分短縮)	2学期制導入に伴い、土曜日、日曜日と合わせて4日間を学期間の休暇とした。

表2

## &lt; 厳寒・積雪期の休業日設定 &gt;

## 1. 冬季休業日の長期化

	学校名	休暇日程	理由
栃木県	藤原町・栗山村・足尾町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/24～1/14 (一般的なスケジュールは3/25～4/7) 春季休業日3/24～4/7 (夏季休業をその分短縮)	寒冷地のため冬季休業日を延長。
群馬県	中之条町・東村・吾妻町・ 草津町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/25～1/13 (夏季休業をその分短縮)	寒冷地で積雪が多いため、この地域のみ冬季休業日を長期化。 吾妻郡内の他の町村についても同様に夏季休業を短縮している。日数が2～3日ずれる程度。
群馬県	多野郡 万場町・中里村・上野村	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/24～1/7 (夏季休業日を1日短縮)	寒冷地であるため冬季休業日を長期化。
山梨県	芦川村 芦川小・中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/9。) 冬季休業日12/21～1/13 (夏季休業日をその分短縮)	厳冬地のため冬季休業日を長期化。
山梨県	山梨県 県内小・中学校		県内全体の16%の小・中学校で厳冬地のため冬季休業日を長期化。
岐阜県	大野郡・吉城郡 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/27～1/7) 冬季休業日12/27～1/10 (夏季休業日をその分短縮)	積雪が多いため、この地域の冬季休業日を長期化している。
岐阜県	恵那郡 坂下町・川上村・加子母村・ 付知町・福岡町・蛭川町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/27～1/7) 冬季休業日12/27～1/10 (夏季休業日をその分短縮)	寒冷地のため、この地域の冬季休業日を長期化している。
広島県	山県郡芸北町 芸北中学校	(一般的なスケジュールは12/24～1/6) 冬季休業日12/20～1/7 (夏季休業日を2日間短縮)	積雪が多いため、冬季休業日を長期化。
愛媛県	野村町 大野ヶ原小学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/26～1/11 (夏季休業日を4日間短縮)	積雪が多いため、冬季休業日を長期化。
佐賀県	浜玉町 平原小学校鳥巣分校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日12/25～1/19 (夏季休業日をその分短縮)	積雪が多いため、冬季休業日を長期化。

表2

< 厳寒・積雪期の休業日設定 >  
2. 休業日を別途設定

	学校名	休暇日程	理由
宮城県	栗駒町 栗駒小学校 耕英分校	(一般的なスケジュールは7/21～8/21) 夏季休業日7/31～8/21 (一般的なスケジュールは12/24～1/7) 冬季休業日12/24～1/7 1/31～2/13	積雪が多いため、冬季休業日を長期化している。また、例年2月の降雪量が最も多いため、2回に分けて冬季休業日を設定。
山形県	立川町 立谷沢小学校	寒中休業日1/28～2/3 (夏休みは一般的なスケジュール的に確保)	地吹雪の発生しやすい時期、積雪の多い時期を考慮し、寒中休業日を設定。
山形県	山形県 県内小・中学校	1月下旬から2月上旬に1～5日間を設定。	小学校38校、中学校5校で寒中休業日を設定。 庄内地方南部では地吹雪の多発する時期を考慮し寒中休業日を設定。
栃木県	日光市 全小・中学校	冬季休業日12/24～1/7 1/25～1/31	寒冷地のため冬季休業日を延長。
群馬県	利根郡 沼田市 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/25～1/7) 冬季休業日前期12/25～1/7 後期1/28～2/3 (夏季休業をその分短縮)	時期により積雪が多くなるため、この地域の冬季休業日を2期制にし、長期化している。
群馬県	榛名町 第四小学校	1/27～1/31 (夏季休業日を5日間短縮)	この時期、厳寒期になるため休業日を設定。
新潟県	妙高高原町 妙高南小学校 杉野沢小学校	2/10、2/21、2/18～2/19、2/24(例) (夏季休業日を5日間短縮)	降雪期休業日を5日間とし、学校によって適宜設定。金曜日、月曜日にまとめている学校が多い。
新潟県	妙高村 関山小学校 原通小学校	2/18～2/20(関山小学校) (夏季休業日を3日間短縮) 2/19～2/21(原通小学校) (夏季休業日を3日間短縮)	降雪期休業日を設定。
福井県	大野郡和泉村 全小・中学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 夏季休業日7/20～8/28 (冬季の平日に休業日を設けるため、夏季休業中の平日を2日間短縮)	積雪が多いため、2日間の降雪期休業日を設定。 (今年度は1/20と2/10の予定。)
長野県	長野県 県内小・中学校		長野県内の小・中学校595校のうち、114校で2日以上(土日を除く)の寒中休業を設定。
岡山県	大佐町 大井野小学校 大井野小学校君山分校 大井野中学校 新見市 菅生小学校 実小学校 子屋小学校	冬季休業日とは別に連続する2日間 (夏休みを2日間短縮)	厳寒期休業日を適宜設定。
大分県	湯布院町 塚原小学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 夏季休業日7/21～8/27 8/28～授業日	厳寒期の休業を見込んで8/28～授業日の間で適宜調整。(例年3日)
大分県	九重町 飯田中学校	(一般的なスケジュールは7/21～8/31) 7/21～8/27 (夏季休業日を4日間短縮)	積雪による臨時休校を見込んで夏季休業日を短縮。

表2

## &lt; その他 &gt;

	学校名	休暇日程	理由
千葉県	袖ヶ浦市 全小・中学校	(一般的なスケジュールは4/1～4/4) 学年始め休業4/1～4/6 (冬季休業日、学年末休業日を1日ずつ短縮)	新年度の児童・生徒の受け入れ及び学年始めの準備を万全にするため。
東京都	小平市 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/24～1/6 (春季休業日を1日短縮)	冬季休業日を12/26～とすると、天皇誕生日の休日以後2日間の授業日が生じるが、1日は終業式を行うために授業は1日しか出来ない。継続的な授業を行うのに適していないので、冬季休業を繰り上げて天皇誕生日と連続休業とした。
島根県	頓原町 頓原中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/18～1/7 (夏季休業日をその分短縮)	冬季休業日中に新校舎移転のため。(本年度のみ)
山口県	田万川町 小川中学校 多摩中学校	(一般的なスケジュールは3/27～4/7) 春季休業日3/25～4/7 (夏季休業を2日間短縮)	来年度学校統合のため、準備期間を多くとるために長期化した。
愛媛県	吉田町・三間町・広見町・ 松野町・日吉村・津島町 全小・中学校	(一般的なスケジュールは12/26～1/7) 冬季休業日12/24～1/7	休業日を2日増やしても必要な授業時間数を確保出来たことから、12/23の天皇誕生日前に終業式を実施し、冬季休業を長期化。

## 経済活性化戦略

- 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」(平成 14 年 6 月 25 日閣議決定)(抜粋) -

- ・厚生労働省、国土交通省等の関係府省は協力して、平成 14 年度から、学校の夏休みの一部を秋休みに移行したり、長期休暇を地域ごとにずらすなどの休暇の分散化を推奨するとともに、年休計画表の作成の一層の促進等を通じ、休暇の長期連続化や休暇取得時期の多様化を推奨する。文部科学省は、必要に応じ協力する。

## 観光振興に関する副大臣会議報告書

～観光交流を通じた経済の活性化、家族との絆、自分の住む地域・国との絆の再生により、元気な日本の再生を～

(平成 14 年 7 月 4 日)(抜粋)

内閣府、文部科学省、経済産業省、国土交通省等関係府省は連携・協力して、学校における長期休業日の分散化を推進する環境を整備する。

具体的には、現行制度上各地方教育委員会等における個別の柔軟的対応により学校の夏休みの一部を秋休みに移行したり、長期休業日を地域ごとにずらしたりするなどの分散化が可能であることを踏まえ、各地方教育委員会等に対して、長期休業日分散化の効果や実例等の情報を提供するとともに、個別の柔軟的対応による分散化を推奨する。